

各都道府県ならびに政令指定都市エイズ対策担当課長 御中

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業  
「エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究」研究分担者  
九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野  
平賀 紀行

各地域での HIV(ヒト免疫不全ウイルス)感染者・エイズ(後天性免疫不全症候群)患者に関する動向調査情報ならびに施策実施状況等に関する調査のお願い

#### 【本研究の目的】

- ・ HIV 感染者・エイズ患者(以下、HIV 陽性者等という。)が全国平均より多く報告されている都道府県等(以下、重点都道府県等という。)の実施する施策について、各地域での発生動向、現状施策を横断的にモニタリングのうえ、各地域で取り組む効果的な施策等を各自治体間や関連団体等で共有し、各地域におけるエイズ対策の推進を図ることを目的としております。
- ・ なお、本研究は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究」(研究代表者:四本美保子 東京医科大学臨床検査医学分野)の分担研究である「HIV 感染者・エイズ患者の集中する地方自治体における HIV 対策の横断的モニタリングと施策推進に関する研究」(研究分担者:平賀紀行)において実施されます。

#### 【本研究により期待される効果】

- ・ 日本における HIV 感染は、これまでの東京を中心とする関東地域に加え近畿、東海ほか地方都市においても感染の拡大が認められております。
- ・ 近年、治療薬の開発が進み、早期に服薬治療を開始できればエイズを発症することなく通常の生活を送ることが可能となってきた一方、長期療養化に伴い、HIV 陽性者へのいわれのない差別・偏見等を背景とする医療施設等への患者受け入れ拒否といった課題も多く認められております。
- ・ 自身や周囲への感染を予防し、かつ、いわれのない差別や偏見をなくすためにも、エイズや HIV 感染症に関する正確な情報を知ることは当然であり、個人における対策もさることながら行政が行う対策を充実させていくことが重要です。
- ・ エイズ予防指針第七には地方自治体の実施する施策のモニタリングと評価の重要性が明記されておりますが、本研究はその趣旨に則り、重点都道府県等より収集される動向調査報告ならびに各地域における施策情報等を収集・分析し、日本を3地区に分けた各地区における地区別重点都道府県会議を開催・意見交換を

行い、その結果、各地域のエイズ施策を推進し、厚生労働省所管課に対する施策提言に資する研究となるものと考えられます。

#### 【本研究における調査内容】

本研究における調査内容は、以下の3項目により成り立っております。

##### ➤ モニタリング項目 1

- ・ HIV感染者・エイズ患者新規報告数(2022年～2024年)・国勢調査人口(直近のみ)(都道府県の報告数はエイズ動向委員会で公表済みのものを使用します。政令指定都市等の報告数について調査を希望します)
- ・ HIV検査件数:平日・夜間・休日・迅速・郵送(2022年～2024年:それぞれの検査件数ならびに陽性件数)
- ・ エイズ対策に係る計画:策定の有無、有であればその資料(直近のみ)
- ・ エイズ対策推進協議会:開催の有無、有であればその資料(直近のみ)

##### ➤ モニタリング項目 2

- ・ 普及啓発および教育についての課題と対応策(特に青少年、MSM、外国人、性風俗産業従事者、薬物乱用・依存者等)(直近のみ)
- ・ 検査相談体制についての課題と対応策(直近のみ)
- ・ 医療提供体制について課題と対応策(中核拠点病院選定、病院連絡協議会開催、研修計画等)(直近のみ)
- ・ 地域特有の課題とそれに対する対応策

##### ➤ モニタリング項目 3

- ・ エイズ対策推進事業実績額(普及啓発および教育、医療提供体制の再構築)(直近3年間)
- ・ 特定感染症検査等事業実績額(保健所等におけるHIV検査・相談事業)(直近3年間)
- ・ これまでの実績を考慮した今後の施策や予算要求の考え方
- ・ エイズ施策全般に対する厚生労働省事務局への要望等自由記載欄

#### 【本研究への参加の可否ならびに情報の公開について】

本研究に得られた調査結果等の資料は、個人情報保護等に支障がない範囲で公開することにより、今後のエイズ施策推進ならびに後続研究の質の向上に貢献したいと考えております。よって、本研究への参加に関しその諾否をご選択いただき、諾と

してご参加いただける場合は、提出いただく各資料を公開可能な資料としてご準備いただくよう、ご留意をよろしくお願いいたします。

各資料の閲覧を希望される方は、本研究班事務局宛にご連絡いただくか、以下のホームページにおいて順次公開資料として掲載しますので、当該ホームページをご参照のほどよろしくお願いいたします。

名称:HIV 陽性者の集中する地方自治体における HIV 対策の横断的モニタリングと施策推進に関する研究

URL : <https://hiv-ppr.jp/topic-hiraga.htm>

#### 【本研究の情報の二次利用について】

本研究に得られた調査結果等の資料は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、同意がいただけるならば、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えております。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

以上、各項目の調査をお願いすることにより、通常業務を多忙にさせることは十分存じ上げておりますが、上記の趣旨を鑑み、本調査にご協力いただけましたら幸いです。重ね重ねどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 【連絡先】

九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野

平賀 紀行

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

TEL:092-642-5603 FAX:092-642-5618

E-mail: [hiraga.noriyuki.550@m.kyushu-u.ac.jp](mailto:hiraga.noriyuki.550@m.kyushu-u.ac.jp)

## 重点都道府県等調査票

都道府県市名：北九州市

本研究への参加に同意する …  諾 ・  否

※参加いただける場合には「諾」を○で囲み、以下の調査にご回答をお願いします。  
参加が困難である場合には「否」を○で囲み、以下に回答されることなく本研究班事務局に本調査票をご返送ください。

本研究以外での情報の利用について …  諾 ・  否

※基本的に情報は本研究のみでご使用いただきたいと思います。他で使用したい場合は、個別にご相談いただければ、課内で検討します。

※提供する情報が将来新たに計画・実施される医学研究に、倫理審査委員会の新たな承認の後、使用されることに同意いただける場合は「諾」を○で囲んでください。

### 【返送先】

九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野

平賀 紀行

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

TEL:092-642-5603 FAX:092-642-5618

E-mail: hiraga.noriyuki.550@m.kyushu-u.ac.jp

【モニタリング項目 1】

HIV 感染者・エイズ患者新規報告数(2022 年～2024 年)

	2022 年	2023 年	2024 年
HIV 感染者(人)	3	6	3
エイズ患者(人)	2	7	3
新規報告数合計(人)	5	13	6

国勢調査人口(直近): 939,029 (人)

※R2 国勢調査 都道府県・市町村別の主な結果

HIV 検査種別検査件数・陽性件数(2022 年～2024 年)

	2022 年	2023 年	2024 年
平日検査件数(件)	425	464	337
うち陽性件数(件)	1	3	0
夜間検査件数(件)	93	54	87
うち陽性件数(件)	0	2	0
休日検査件数(件)	43	25	33
うち陽性件数(件)	0	2	0
迅速検査件数(件)	136	79	120
うち陽性件数(件)	0	4	0
郵送検査件数(件)	-	-	-
うち陽性件数(件)	-	-	-

※平日検査は夜間検査数を含む。

平日日中の検査数＝平日検査数－夜間検査数

エイズ対策に係る計画 策定の有無 … 有 ・  無

※有であれば直近に策定された計画の資料の添付をお願いします

※以下の空欄に概要をご記載くださるか、添付でも構いません。

エイズ対策推進協議会 開催の有無 …  有 ・ 無

※有であれば直近で開催された協議会の資料の添付をお願いします

※以下の空欄に概要をご記載くださるか、添付でも構いません

○毎年3月頃に開催 令和6年度は3月5日に開催

<協議事項>

1. エイズ・性感染症の発生動向等について
2. 福岡県のエイズ・性感染症対策等について
3. HIV 感染者・エイズ患者の医療体制等の整備について
4. 性感染症・HIV 感染症の最近の話題

<主な内容>

- ・全国と比較して福岡県は男性のエイズ患者、感染者の割合が多く、外国人男性の割合が低い傾向にある。外国人に関しては検査までアクセスできない可能性もあり、多言語による啓発活動も必要である。
- ・検査数はコロナ期間中に大きく減少し、近年は少しずつ増加している。
- ・HIV カウンセラーの派遣事業が有意義に機能している。
- ・受け入れについて、研修を通じて施設の従事者に教育をしているが、責任者やオーナー、経営母体等が患者の受け入れに難色を示されることもある。管理者についてのアプローチも必要である。

## 【モニタリング項目 2】

### 普及啓発および教育についての課題と対応策

(特に青少年、MSM、外国人、性風俗産業従事者、薬物乱用・依存者等)

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

<課題>

効果的な啓発活動の実施

<対応策>

青少年: SNSを活用した啓発、中学校や高校への啓発物送付

MSM: 参集が多い場所での啓発・アウトリーチ

性風俗産業従事者: 性風俗産業への啓発物送付

### 検査相談体制についての課題と対応策

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

<課題>

検査数の減少

<対策>

・継続的な啓発、感染の多い世代への啓発

・効果的な郵送検査の検討

### 医療提供体制について課題と対応策

(中核拠点病院選定、病院連絡協議会開催、研修計画等)

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

令和7年2月14日 病院連絡協議会開催

<主な内容>

- ・検査機会の拡充→曜日、時間帯についても検討が必要。また郵送検査についても検討の必要がある。
- ・対象を絞った啓発→MSMや外国籍への啓発、地域の医療機関・介護施設についても正しい理解のため教育が必要。
- ・幅広い年代への啓発→上記に加え、市民全体への正しい知識の啓発が必要。

### 地域特有の課題とそれに対する対応策

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

<課題>

検査数の減少

<対策>

- ・継続的な啓発、感染の多い世代への啓発
- ・効果的な郵送検査の検討

【モニタリング項目 3】

エイズ対策推進事業実績額(普及啓発および教育、医療提供体制の再構築)

(直近 3 年間)

※以下の空欄に実績額と地域特有の取り組み等あればご自由にご記載ください  
(別添資料があれば添付でも構いません)

2024 年度:1,657,480 円

2023 年度:1,913,581 円

2022 年度:1,677,190 円

特定感染症検査等事業実績額(保健所等における HIV 検査・相談事業)

(直近 3 年間)

※以下の空欄に実績額と地域特有の取り組み等あればご自由にご記載ください  
(別添資料があれば添付でも構いません)

2024 年度:6,109,751 円

2023 年度:3,462,571 円

2022 年度:3,667,931 円

**これまでの実績を考慮した今後の施策や予算要求の考え方**

※以下の空欄にご自由にご記載ください。(別添資料があれば添付でも構いません)

近年の検査数は減少しているものの、これまで確保してきた検査数は維持していきたい。検査数の減少については、今後もターゲット層を明確にした啓発活動やエイズデー前後の市民全体への啓発に注力していく。また、郵送検査の導入を検討することにより、対面での検査を希望しない方や日程の都合により検査を受けることが困難な者への対応を図り、受検機会の拡充を目指していく。

予算要求については、全庁的に予算削減の流れはあるものの、本事業は感染者等の早期発見、早期治療につながる重要な取り組みであることから、引き続き必要な水準の額を要求・確保していきたいと考える。

**エイズ施策全般に対する厚生労働省事務局への要望等自由記載欄**

※以下の空欄にご自由にご記載ください。(別添資料があれば添付でも構いません)